

のぞいてみ、る？



令和8年度企画展

服のウラガワ、 お店します

主催 名古屋市科学館

会場 FUJI なごや科学館 理工館地下2階 FUJI イベントホール

会期 2026年10月31日(土)～11月15日(日) 9時30分～17時00分 (休館日を除く)

入場料 無料 (科学館の入館には所定の観覧料が必要。入館は16時30分まで)



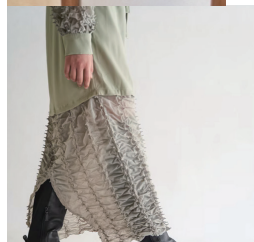
01 服へのウラガワ

繊維から服までの道のりに
たくさんの思いがこもっています



▲SOCO 知多木綿 88 貫バンドカラーシャツ（谷健）

▲染和・SOWA 着物アロハシャツ
（友禅工房堀部）



▲cucuri Kumo maxi dress（山上商店）

02 服と伝統工芸のウラガワ

伝統工芸を身にまとう
服に生き続ける匠の技とは？



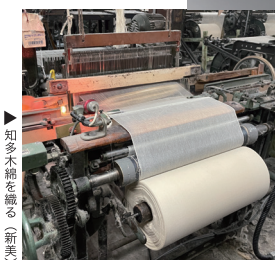
▲中村商店 黒紋付染めロングシャツワンピース「黒紋」（山勝染工）

この街から世界へ
はばたく伝統産業とは？

03 服と伝統産業のウラガワ



▲UZUIRO ちぐはぐヘムスカート（渦Japan）



▲知多木綿を織る（新美）



▲自然と生きる和晒（平野晒工場）



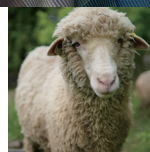
▲尾州毛織物のマズ日本生地

04 服と●●のウラガワ

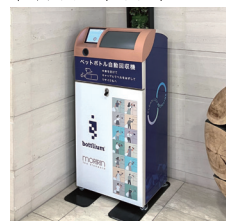
科学館なのに科学しない!？
「かたが生まれる、そのあいだ。」



▲藤井ショウジ「かたが生まれる、そのあいだ。」（カゴノトリ）
ものの形は、どのように生まれるのでしょうか。
染色やさまざまな布の表現を通して、人と素材のあいだに
生まれる形を見つめ、「つくる」とは何かを考えます。



▲日本はペットボトル資源大国
ポリウム（モリリン）



05 服と地球環境のウラガワ
あなたのチョイスで
地球のミライが変わります

01

今、あなたが着ている服
がどうやって作られている
か知っていますか？
1枚のシャツが繊維から
始まりシャツとして完成
するまでの工程を実物や
工場の動画、写真などか
ら紐解いていきます。
また様々な繊維の特徴を
実物や体験展示を通して
学びます。

02

名古屋には和服に端を発
した様々な伝統工芸があ
り、この地域は服と共に
発展してきました。有松・
鳴海絞、名古屋黒紋付染、
名古屋友禅について、そ
の歴史と、伝統技法を現
代ファッションへと落
し込んで作られた服飾製
品を展示します。一部製
品は試着できます。

03

愛知で続く伝統産業から
尾州毛織物と三河木綿を
紹介します。世界三大毛
織物産地の一つと呼ばれ
る尾州地区の毛織物、日
本に綿が初めて伝来した
とされる三河地方で作ら
れる木綿織物、これらの
歴史や生地、服飾製品を
紹介します。一部製品は
試着できます。

04

ファッションを楽しむに
は芸術や哲学の視点から
探求することも粋です。
カゴノトリ・藤井ショウ
ジが「かたが生まれる、
そのあいだ。」をテーマに
有松・鳴海絞から着想し
た絞り染め生地や服飾製
品を展示します。人と素
材のあいだに生まれる形
を見つめ、「つくる」とは
何かを考えます。

05

ファッションは身近で気
軽に楽しめる一方で地球
環境に大きな負担をかけ
ている裏側があります。
大切なのは消費者がその
裏側を正しく知り、どう
すれば良いかを考え選択
していくことです。ファッ
ションを持続可能にする
ためのヒントを学びます。

展示協力

株式会社渦 Japan、カゴノトリ株式会社、谷健株式会社、東レ株式会社、トヨタ産業技術記念館、新美株式会社、西川毛織株式会社、日本ウールサステナブル委員会、ヌイプロダクツ、公益財団法人尾州ファッションデザインセンター、有限会社平野晒工場、モリリン株式会社、山勝染工株式会社、株式会社山上商店、友禅工房堀部 ※順不同・敬称略

※上記で紹介している画像は実際の展示品とは異なる場合があります。ご了承ください。
※株式会社FUJIは名古屋科学館のネーミングライツスポンサーです。

展示会概要

展示会名 令和8年度企画展「服のウラガワ、お店します」
主催者 名古屋科学館
会場 FUJIなごや科学館 理工館地下2階 FUJIイベントホール
会期 令和8年10月31日（土）～11月15日（日）9時30分～17時00分
休館日（11月2日、9日）を除く。科学館への入館は16時30分まで。
入場料 無料（科学館の入館には所定の観覧料が必要です。観覧料は公式ウェブサイトをご覧ください。）
お問合せ FUJIなごや科学館（名古屋市中区栄二丁目17番1号 芸術と科学の杜・白川公園内）
TEL：052-201-4486 FAX：052-203-0788